

菜園の野菜も収穫の時期を迎えました。

タマネギ



6月2日撮影の収穫風景です。
掘り起し天日で乾燥させます。
鱗茎(球形の食べる部分)が茶色になり、
葉の部分の緑が色落ちし、枯れる頃が
丁度良さそうです。

雨に遭わないように、畑に2~3日置きます。その後、持ち帰り、4個ぐらいをまとめ、葉の部分を縛り風通しの良い所につるし完全乾燥させ貯蔵します。



この状態では「新タマネギ」として食べられます。薄切りにしてかつお節と醤油、不思議です刺激は無く美味しく口にできます。

辞書には「ユリ科の多年草。東地中海沿岸地方が原産とされ、古くから栽培されてきた」とあります。日本には明治初年に渡来した比較的新しい野菜です。

大成功ですね、立派に育ちました。



写真は5月7日撮影です。

種で苗を育てる場合は、前の年の9月頃に種まきをします。11月、霜が降りる前には苗を植え付けます。植え付けには専用の穴の開いた黒い色のビニール製のマルチを使ったり、写真のようにそのまま畑に植え付けたりします。

写真の玉ねぎはあまり育ちがよくありませんでした。今一でした。



キュウリ（胡瓜）

6月2日の撮影です。実を付けています。5月の連休が明けてから苗を購入し植えつけました。もう、果実をつけ食べられます。

つるで伸び花を付け、実になります。支柱を立てネットを張り伸ばします。

実の成長は早く、二日もそのままにすると肥大化してしまいます。



ナス（茄子）

事典には果菜と記され、インドが原産です。

6月2日の撮影です。食べるには十分です。苗木の時には風にあおられると良くないので、防風の処置をします。

もう少し大きく成長すると、脇に伸びた枝を支える添え木を立て、枝を縛り固定します。果実が風に吹かれ傷つくのを防ぎます。

ズッキーニ

西洋カボチャの一種。

6月23日の撮影です。朝のうちに人工授粉すると果実の成長が良くなります。昨年、雄花がない時、カボチャで受粉させてもOKでした。

菜園の指南書には「カボチャのように広いスペースは不要」とありますが、葉先までの大きさは直径1.5mぐらいになり、植え方を考えないと、他の野菜とかぶってしまいます。





ジャガイモ

6月23日の撮影です。雑草と入り混じっていますが、葉の枯れているのがジャガイモです。

花は終わりました。



種イモの植えつけは3月半ば頃です。品種は「キタアカリ」、煮物よし、蒸かしてよし、と家では好評です。

一つの株から写真のように幾つもの実がとれます。しかも種イモは1/2や1/3、1/4に切り分けて植え込みます。

計算してください。1/2の種イモから6個の実がとれたら、何倍の成果になりますか。

生産性の高い野菜です。



トマト

実を付けていますがまだ若すぎます。今食べると苦く感じます。スーパーの店頭には並びません。

サツマイモ

マルチを掛けて、二畝植えてあります。「アンノウイモ」という品種で友人から貰いました。自宅で温度、湿度を管理し芽出しをした貴重な苗です。

焼き芋屋さんの定番で甘味・ほくほく感が抜群です。上手に育てなければとプレッシャーも感じます。

敷き藁にはキュウリです。支柱やネットなしで植えました。



ゴボウ（牛蒡）

なんと、ヨーロッパ、シベリヤ原産でキク科に属します。

根が深く延びることを考慮した究極の栽培術です。根の程は分かりませんが葉も大きくなり、成長の途上にあります。



** ほのぼのタイム ** 菜園の花々です。

